▼早めの避難を

大雨や長雨により、土砂災害が起きます。大雨や長雨により警報が発表されている時は、家の周りの状況に注意し危険と思ったら、早めに避難をしましょう。

また、子どもや高齢者の避難には誰かの手助けが必要です。常に声をかけ合い、助け合う地域の和でみんなの安全を守りましょう。

避難所は看板が目印です

避難所のひとつ
しまとぴあスカイセンター

周防大島町では、災害時の避難場所（避難所）を決めています。（左上写真参照）いざという時のために、今一度、日頃から家族全員で避難場所と避難経路を決めておきましょう。

▼土砂災害の前ぶれは

大雨や長雨による、土砂災害の前ぶれとして、がけからの水が濁る、がけに亀裂が入る、小石がバラバラと落ちるなどの現象が起きます。

▼地域の点検を

梅雨前には、地域で水路や側溝に土砂や落ち葉などのゴミがふさいでいないか点検し、清掃しましょう。

災害を未然に防ぐためにも、今一度、家の周辺を点検しましょう。

■問い合わせ
総務課　消防防災班
☎０８２０（７４）１０００

中山間地域等直接支払い制度について

■問い合わせ　農林課　農林振興班
☎０８２０（７９）１００２

【制度の概要】

平成12年度に開始した「中山間地域等直接支払制度」については、平成17年度から平成21年度までの間で第２期制度が予定の５年間を終え、平成22年度より新たに第３期制度がスタートします。

この制度は、中山間地域等の農地や営農を守り多面的機能を保全するため、集落協定を結んだ集落や個別協定を結んだ認定農業者等に交付金を交付しています。

この制度の活用により、地域活性化にむけた取り組みができます。

【交付金の活用について】

集落協定に基づいて毎年集落に交付される直接支払交付金の使途については、協定参加者のみなさんが話し合って決めていくことが大切です。したがって、この交付金を活用して、自分達が暮らす地域を更により良いものとしましょう。

【平成21年度実施状況】

平成21年度は、50の集落で取り組みが行なわれました。地区ごとの集落協定の実施状況は別表のとおりです。

◆平成 21 年度集落協定実施状況

地域	協定数	参加農家数	協定対象農用地面積 (a) 田	畑	計	交付金（千円）	取り組み内容と活動協定数 農業生産活動 農用地 適正な農業生産活動	賃借権設定・農作業の委託	既耕作放棄地復旧又は林地化	農地法面管理	鳥獣被害防止対策	簡易な基盤整備	その他（災害復旧等）	施設 水路管理	農道管理	その他（ため池等）	多面的機能増進活動 周辺林地の下草刈	土壌流亡配慮営農	棚田オーナー制度	景観作物の作付け	魚類・昆虫類保護	粗放的畜産	堆きゅう肥の施肥	その他（清掃活動等）	集落マスタープラン 集落マスタープランの作成	核となる集積対象者の育成	活力ある周辺集落との連携	農用地等保全マップ 農用地等保全マップの作成	法面、水路、農道等の補修改良	鳥獣被害防止対策	既耕作放棄地復旧又は林地化	農作業共同化又は受委託等	生産性収益向上 機械・農作業の共同化	高付加価値型農業の実践	担い手育成 新規就農者の確保	認定農業者の育成	担い手への農作業の委託
久賀	2	11	22	1,052	1,074	690	2	1	0	0	0	0	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
大島	31	384	5,400	6,622	12,022	12,356	31	11	3	21	2	6	10	31	31	2	27	1	1	6	0	0	2	2	31	6	9	11	8	1	3	1	4	4	1	2	1
東和	4	14	0	391	391	404	4	0	0	3	1	1	1	4	4	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4	1	2	3	1	2	0	0	0	3	0	1	0
橘	13	147	0	5,632	5,632	5,084	13	6	1	10	7	5	12	13	13	1	10	5	4	3	2	1	1	1	13	5	1	13	7	8	1	0	0	10	0	7	0
合計	50	556	5,422	13,697	19,119	18,534	50	18	4	34	10	12	24	50	50	3	41	6	5	11	2	1	4	3	50	12	12	28	17	11	4	1	4	18	1	10	1